

環境省事業を活用した復興支援と地球温暖化対策を両立する企画がスタート

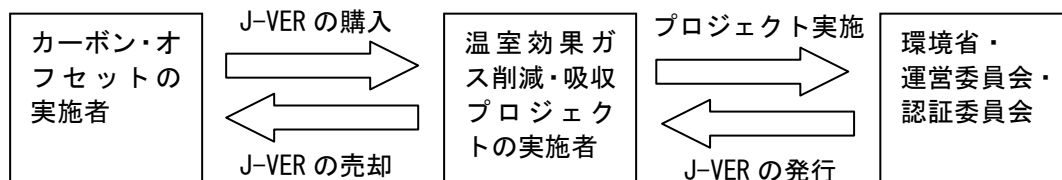
株式会社三菱総合研究所(所在地:東京都千代田区、代表取締役社長:大森京太、以下(株)三菱総合研究所)と株式会社リサイクルワン(所在地:東京都渋谷区、代表取締役:木南陽介、以下(株)リサイクルワン)は、この度、環境省からの委託事業(*1)の一環として「被災地オフセット・クレジット(J-VER)の活用による復興支援協議会」(略称:「被災地支援協議会」)を設立しました。本協議会を通じて被災地復興支援とカーボン・オフセットの取り組みを進めて参ります。

本協議会の設立目的は、東日本大震災において特に被害が甚大であった被災地(岩手、宮城、福島)にて創出されたオフセット・クレジット(J-VER)(*2)の販売を促進することであり、本協議会の運営を通じて、被災地で創出された多くのJ-VERが有効に活用され、それにより被災地への経済支援とJ-VERの活用による地球温暖化対策の双方を促進していくことを目指しています。

なお、本協議会は被災地でJ-VERを創出している団体様と被災地支援協議会賛同企業により構成され、事務局の運営は、環境省よりオフセット・クレジット(J-VER)制度の東日本地域の事務局として委託を受けた(株)三菱総合研究所が(株)リサイクルワンに再委託しています。

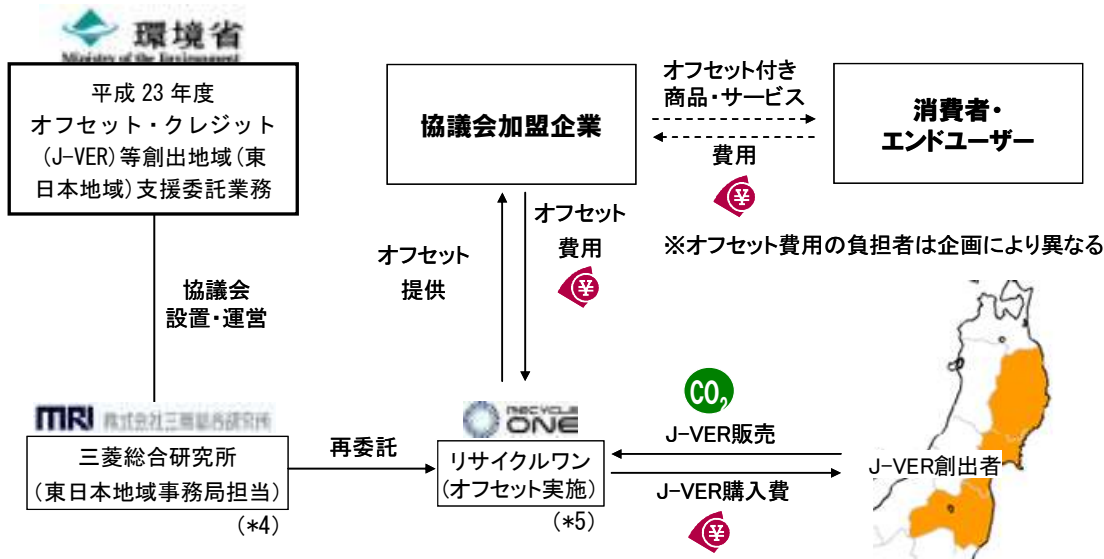
【オフセット・クレジット(J-VER)制度とは】

環境省は、カーボン・オフセット(自らの排出量を他の場所の削減量(クレジット等)で埋め合わせて相殺すること。)の仕組みを活用して、国内における排出削減・吸収を一層促進するため、国内で実施される排出削減・吸収プロジェクトによる削減・吸収量を、カーボン・オフセット用のクレジット(J-VER)として認証する制度を2008年11月からスタートしております。創出されたJ-VERは自主的なカーボン・オフセットのほか、地球温暖化対策推進法に基づく排出量算定・報告・公表制度の報告に活用可能であり、また、国際規格ISOに準拠した信頼性の高い認証制度として運営されております。



【本事業のスキーム】

協議会加盟企業の自社活動や、販売する商品を被災地で創出されたJ-VERでカーボン・オフセットすることが出来ます(*3)。また、被災地で創出されたJ-VERを用いることで地球温暖化対策と被災地復興支援を両立することが出来ます。



【被災地支援協議会の特徴】

- ・ 環境省事業の一環としてカーボン・オフセットに取り組むことができ、公共性・信頼性の高いオフセットが可能
- ・ J-VER 創出者と J-VER 利用者が協議会会合で直接対話する、顔の見える支援活動
- ・ 被災地復興支援と地球温暖化対策を両立することが可能

特定のプロジェクトと、ポートフォリオによるオフセットを選択することが出来ます。ポートフォリオ型の取り組みの場合、被災地三県の複数のプロジェクトから創出される J-VER を用いてオフセットすることにより、幅広い地域の復興支援に貢献できます

賛同企業のうち数社については、実際に本協議会を通じて被災地支援とカーボン・オフセットを組み合わせた取り組みを実施予定です。これらの取り組みの他にも、今後様々な被災地支援型のカーボン・オフセットを行うことを検討しています。

【一部の会員様のお取り組み(五十音順)】

取り組み企業	企画名称	利用クレジット	概要
学研ホールディングス	印刷物等の復興支援型カーボン・オフセット	釜石地方森林組合創出の J-VER 等	学研グループとして、積極的に被災地クレジットを利用することを推進。まずは 2012 年度の CSR レポートのカーボン・オフセットに取り組む予定。
キャノンマーケティングジャパン	販促用ノベルティの復興支援型カーボン・オフセット	釜石地方森林組合創出の J-VER	釜石市の間伐材で製造した木製品を、釜石市の J-VER を用いてカーボン・オフセットし、それをノベルティとして活用。
KDDI	CSR 報告書の復興支援型カーボン・オフセット	釜石地方森林組合創出の J-VER	CSR 報告書(2011 年 8 月発行)の印刷、製本等にかかる GHG 排出をオフセット。
住友スリーエム	建物用ウインドウフィルム・車用ウインドウフィルム・LAN ケーブル等の復興支援型オフセット	喜多方市森林整備事業の J-VER 釜石地方森林組合創出の J-VER	同社が販売する建物用ウインドウフィルムや車用ウインドウフィルム、LAN ケーブル等の製造時や輸送時に排出される GHG を、被災地 J-VER を活用してオフセット。順次実施予定。
トッパンフォームズ	封筒・はがきの復興支援型カーボン・オフセット	釜石地方森林組合創出の J-VER	トッパンフォームズが提供するカーボン・オフセットつきビジネスフォーム(封筒・はがき)に、被災地 J-VER を利用予定。
日本興亜損保	保険商品・事故対応サービスにおける復興支援型カーボン・オフセット	被災地 J-VER ポートフォリオ	2010 年 10 月から 2011 年 4 月までの間に、保険約款や保険証券を日本興亜損保のホームページ内で閲覧いただく方法(「Eco-Net 約款」や「Web 確認」)をお客様にご選択いただいた件数および環境に優しい事故対応を行った件数に応じ、日本興亜損保が被災地 J-VER 購入費用を負担してカーボン・オフセットを実施。9 月実施予定。
ファミリーマート	環境配慮型 PB 商品の復興支援型カーボン・オフセット	釜石地方森林組合創出の J-VER	キャンペーン期間(今秋を予定)環境配慮型 PB ブランド「We Love Green」商品の製造時における GHG 排出量を被災地 J-VER でオフセット
Yahoo! JAPAN	Yahoo!カーボンオフセットにおける被災地 J-VER の提供	被災地 J-VER ポートフォリオ	ポータルサイト利用者が Yahoo!ポイント等を通じて自身の GHG 排出をオフセットできる機会を提供。9 月実施予定。

【協議会加盟者のクレジット】

- ・ 現在以下の J-VER 創出者が協議会に加盟しています(ポートフォリオを組成する際に全てのプロジェクトからクレジットが調達されることを約束するものではありません)。

県	地域	プロジェクトタイプ	実施者
岩手県	盛岡市、陸前高田市	森林整備(間伐促進)	岩手県農林水産部森林保全課
	釜石市	森林整備(森林経営)	釜石地方森林組合
福島県	喜多方市	森林整備(間伐促進)	喜多方市
	いわき市	森林整備(森林経営)	磐城造林株式会社
宮城県	栗原市	ペレットストーブ利用	栗駒木材株式会社

これからも本協議会では、被災地で創出された J-VER を活用したカーボン・オフセット導入のご支援を通じて、地球温暖化対策と被災地復興支援の両立に積極的に取り組んでいきます。

以上

- *1: 環境省 平成 23 年度オフセット・クレジット(J-VER)等創出地域(東日本地域)支援委託業務。
- *2: 岩手県、宮城県、福島県で創出される発行済み J-VER を用います。
- *3: J-VER を日本国政府(環境省)の無効化口座へ移転させます。
- *4: (株)三菱総合研究所は総合シンクタンクとして、企業経営、社会インフラ整備、教育、医療・福祉、環境、資源・エネルギー、安全防災、先端科学技術、IT などの様々な領域における複合的な課題に対して最適な解決アプローチを提供しています。
- *5: (株)リサイクルワンはカーボン・オフセットサービスの透明性を高めるために、あんしんプロバイダー制度(環境省が設立した気候変動認証センターが運営)に参画しており、更なる高水準の取組として SGS ジャパン社による自社プロトコルの第三者審査を受けています。

お問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所 (<http://www.mri.co.jp/>)

〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 1 0 番 3 号

広報・IR 部 広報室 (担当: 笠田)

TEL: 03-6705-6000 FAX: 03-5157-2169 E-mail: media@mri.co.jp

環境・エネルギー研究本部 地球温暖化対策戦略グループ (担当: 小川)

TEL: 03-6705-5191 /FAX: 03-5157-2146 /Email: jver@mri.co.jp

株式会社リサイクルワン (<http://www.recycle1.com>)

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷三丁目 1 0 番 1 3 号 渋谷 R サンケイビル

温暖化対策事業部 (担当: 野田、長井、古屋)

TEL: 03-5774-0600 /FAX: 03-5774-0601 /Email: cs-info@recycle1.com